

# 理念 つなげる はぐくむ 実践する 食の「わ」 ~人の輪「わ」、環境の環「わ」、和食文化の和「わ」~

目標1 人とのつながりを通し、望ましい食習慣を身につける

目標2 食を取り巻く環境を理解し、できることを実践する

目標3 金沢の和食文化を受け継ぐ

視点

取組の方向

基本的施策

具体的施策

つなげる

1. 人とのつながりや多様な暮らしに配慮した全世代への取組

- (1) 子どもや若い世代をはじめ全世代における望ましい食習慣の習得と実践
- (2) 教育・保育施設等における規則正しい食生活の実践と家庭との連携による切れ目のない食育の実践
- (3) 家庭や地域での共食への意識の高揚と実践

- (1) 栄養バランスに配慮した日本型食生活の実践
- (2) 食生活改善活動を主体的に推進する人材の育成とスキルの向上
- (3) 食提供事業者や流通事業者と連携した食育の推進

- (1) 生産、製造、流通等の体験を通じた食の循環の理解促進
- (2) 地元食材の普及や地産地消の促進のための多様な活動の推進
- (3) 金沢の自然と調和した健康な食生活の実践と普及

- (1) 様々な事業や教育を通じた食文化の継承・創造と和食のもてなしへの関心を高める気運の醸成
- (2) 官民が連携した食文化のPR事業の積極的な展開
- (3) 食文化を継承する人材の技術・技能の向上

- (1) 活用しやすい方法による食の安全や食品表示に関する情報の提供
- (2) 食の安全・安心や食品表示等に関する教育機会の充実
- (3) 緊急時における家庭用食料品備蓄の重要性の普及

- (1) 食育関係団体との連携・協働による活動共有の推進
- (2) 多様な手段による信頼できる情報の提供

- (1) 全世代における望ましい食生活の普及と展開
- (2) 栄養・健康教室を通じた食の大切さや望ましい食習慣の普及
- (3) 育児・母子相談、食生活相談などを通じた栄養や食習慣等の指導の充実
- (4) 親子参加料理教室等を通じた食の楽しさの理解と健全な食生活の実践

- (2) 教育・保育活動全体を通じた子どもへの指導と保護者への普及
- (3) 医療専門家による児童・生徒及び保護者への栄養相談等の実施
- (4) 特色ある学校給食や調理実習を通じた地元食材と食文化の理解の促進
- (5) 食育に関する教職員等の資質の向上と栄養教諭等による食育の推進

- (3) 高等教育機関と連携した健全な食生活の実践の推進
- (4) 若い世代(成人から妊娠期、子育て世代)の家庭や地域における共食の意識の向上

- (1) 生活習慣病の正しい知識の普及と食生活改善による予防の推進
- (2) 「金沢版食事バランスガイド」等の活用による日本型食生活の推進
- (3) 歯科保健における食育の推進
- (4) 高齢者等が自立した食生活を営むための知識の普及

- (2) 栄養士等給食関係者に対する研修の充実
- (3) 食生活改善推進員等の養成と活動拡充に向けた発信

- (3) 「健康づくりサポート店」等における健康メニューと栄養情報の提供
- (4) 給食施設等における健康・栄養情報の提供の推進

- (1) 家庭における廃棄食材等の削減の促進
- (2) 行政、民間団体、事業者等の連携による循環型社会の構築

- (2) 地元食材を活用した食生活の知識と技術の普及の促進
- (3) 市民農園、学校体験農園等による生産体験の理解の促進
- (4) 関係団体等による地元食材の普及・利用推進

- (3) 農業、流通イベント等を通じた生産者と消費者の交流促進
- (4) 農林漁業者、食材流通業者との連携による生産指導等を通じた食育の推進

- (1) 事業者における金沢の食文化発信の促進
- (2) 学校教育における食育活動
- (3) 家庭における食育活動
- (4) 加賀野菜や旬の魚等の地場産物と海産物の消費拡大

- (2) 金沢の食の魅力を全国に発信
- (3) 観光客及び市民に向け情報発信

- (3) 伝統野菜の栽培等
- (4) 料理技術の継承
- (5) 農業技術の継承

- (1) 食品の安全性に関する情報の提供の推進
- (2) 食品表示に関する情報の提供の推進

- (2) 食の安全・安心や表示に関する発信

- (3) 健康危機管理における備蓄食料の役割の普及
- (4) 備蓄食料の確保等についての情報発信

- (1) ボランティアや関係団体等との協働による実践の推進
- (2) 関係施策と連動した食育普及活動の展開

- (2) 食育に関する基礎資料の蓄積と研究機関等からの支援
- (3) 多様な手段、媒体を利用した、情報・事例等の発信